



牧 監 第 4 6 号
令和 4 年 8 月 12 日

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂
同 大井 俊彦



令和 3 年度牧之原市水道事業会計決算の審査意見書について (提出)

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和 3 年度牧之原市水道事業会計の決算及び附属書類について、牧之原市監査基準 (令和 2 年牧之原市監査委員訓令第 1 号) に基づいて審査したので、次のとおり意見書を提出します。

令和3年度

牧之原市水道事業会計決算審査意見書

牧之原市監査委員

令和3年度 牧之原市水道事業会計決算審査意見

第1 審査の種類

決算審査（地方公営企業法第30条第2項）

第2 審査の対象

令和3年度牧之原市水道事業会計歳入歳出決算

第3 審査の着眼点

決算その他関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行又は事業の経営が、適正かつ効率的に行われているか。

第4 審査の主な実施内容

審査に当たっては、水道事業会計の決算書、財務諸表及びこれらに関する附属書類（地方公営企業法第30条第9項の書類）について、関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正に行われているかを関係諸表等と照合し計数の確認を行った。

また、財政状況及び予算の執行状況については、関係職員から説明を聴取し、審査の着眼点に基づき審査を実施した。

第5 審査の実施場所及び日程

牧之原市役所 榛原庁舎 6階会議室 2

令和4年7月22日（金）

第6 審査の結果

審査に付された令和3年度決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数及び会計処理は正確であり、令和3年度の財政状況及び経営成績を適正に表示しているものと認められた。

審査の意見及び決算の概要は、後述のとおりである。

第7 審査の意見

収益的収入の大部分を占める給水収益は、一般用及び大口企業の使用水量が共に減少したことで前年度と比べ減額となった。また、収益的収支においては、結果として黒字決算となったものの、純利益が前年度比78.6%の減となっている。

現在、サービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う更新投資の増大により、経営環境も厳しい状況になりつつある。このため、経営の効率化を図る必要があり、

経費の削減に繋がる有収率の向上に向けた漏水箇所の早期発見については、できる限りの対策を模索していただきたい。

第8 決算の概要

1 予算の執行状況

(1) 収益的収支の状況

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
水道事業収益	1,034,779,000	1,010,200,381	△24,578,619
営業収益	987,733,000	962,191,876	△25,541,124
営業外収益	47,036,000	48,008,505	972,505
特別利益	10,000	0	△10,000

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
水道事業費用	1,005,980,000	973,779,716	32,200,284
営業費用	976,297,000	952,609,588	23,687,412
営業外費用	27,683,000	21,170,128	6,512,872
予 備 費	2,000,000	0	2,000,000

収益的収入及び支出（税抜き）は、事業収益 922,673 千円、事業費用 915,965 千円、収益的収支は、6,707 千円の純利益となった。

事業収益については、給水収益 874,331 千円（構成比 94.76%）が、主なものである。

事業費用については、原水費 507,797 千円（構成比 55.44%）、配水及び給水費 74,081 千円、総係費 51,674 千円、減価償却費 259,874 千円、営業外費用 21,170 千円などである。

(2) 資本的収支の状況

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
資本的収入	137,096,000	132,804,655	△4,291,345
企業債	120,000,000	110,000,000	△10,000,000
国庫補助金	10,000	0	△10,000
工事負担金	10,000	5,226,560	5,216,560
長期貸付金償還金	10,180,000	10,180,595	595
固定資産売却収入	10,000	0	△10,000
その他資本的収入	6,886,000	7,397,500	511,500

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不用額
資本的支出	438,547,000	390,173,402	0	48,373,598
建設改良費	317,608,000	269,334,588	0	48,273,412
企業債償還金	120,939,000	120,838,814	0	100,186
その他資本的支出	0	0	0	0

資本的収入及び支出(税込み)は、資本的収入132,804千円、資本的支出390,173千円、資本的収支の不足額257,368千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

資本的収入については、企業債110,000千円、長期貸付金償還金10,180千円が主なものである。

資本的支出については、建設改良費269,334千円、企業債償還金120,838千円などである。主な建設改良工事は老朽管更新事業で、市道山の手幹線配水管布設替工事や市道女神時ヶ谷線配水管布設替工事などを行い、管路工事としては、総延長約2.5kmに渡り工事を実施した。

なお、令和3年度末の企業債借入金残高は、2,338,614千円で、前年度より10,838千円減額した。

2 業務量

項 目	年 度		比 較	
	令和3年度	令和2年度	増 減	比率(%)
行政区域内人口(人)	43,696	44,560	△864	98.06

年 度 項 目	令和 3 年度	令和 2 年度	比 較		
			増 減	比率 (%)	
給水区域内人口(人)	36,489	37,172	△683	98.16	
計画給水人口(人)	44,500	44,500	0	—	
現在給水人口(人)	36,453	37,135	△682	98.16	
普及率(%)	99.90	99.90	0.00	100.00	
給水件数(件)	16,075	16,159	△84	99.48	
年間総配水量(m ³)	6,168,908	6,341,311	△172,403	97.28	
内 訳	榛南水道(m ³)	4,383,318	4,525,334	△142,016	96.86
	大井川広域水道企業団(m ³)	1,785,590	1,815,977	△30,387	98.33
配水能力(m ³ /日)	28,500	28,500	0	—	
一日最大配水量(m ³)	17,525	18,185	△660	96.37	
一日平均配水量(m ³)	16,901	17,373	△472	97.28	
有収水量(m ³)	4,608,712	4,716,174	△107,462	97.72	
一日一人平均給水量(ℓ/日)	346	348	△2	99.55	
無収水量(m ³)	308,445	317,066	△8,620	97.28	
有効水量(m ³)	4,917,157	5,033,240	△116,082	97.69	
有収率(%)	74.71	74.37	0.34	100.45	
有効率(%)	79.71	79.37	0.34	100.42	
施設利用率(%)	59.30	60.96	△1.66	97.28	
最大稼働率(%)	61.49	63.81	△2.32	96.37	
負荷率(%)	96.44	95.54	0.90	100.94	
給水原価(円)	188.77	183.30	5.47	102.98	
供給単価(円)	189.71	189.48	0.23	100.12	

令和 3 年度の給水人口は、36,453 人、給水件数 16,075 件、普及率 99.90% であ

る。また、給水原価は188円77銭、供給単価は189円71銭であった。

総配水量6,168,908 m³、また有収水量は、4,608,712 m³となった。有収率は、74.71%、施設利用率59.30%、最大稼働率61.49%、負荷率96.44%となった。

注記

- 1 千円単位で表示した金額は、原則として千円未満を切り捨てました。
このため差額又は合計金額が一致しない場合があります。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第3位を四捨五入し表示しました。
このため合計比率が一致しない場合があります。また、決算書等、他の書類と一致しない場合もあります。